

最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出は7ヶ月ぶりにプラスへ～

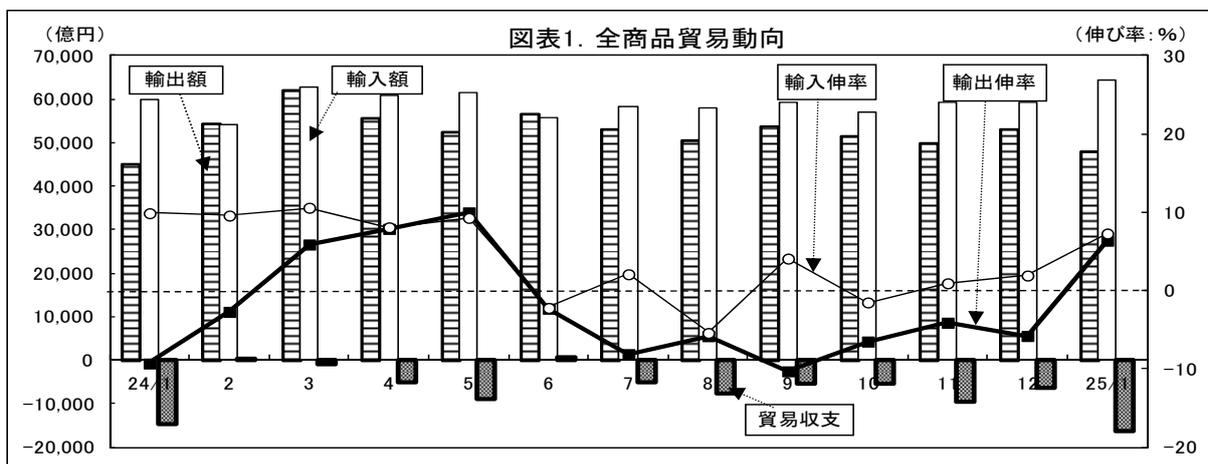
日本機械輸出組合 2013. 3. 18

1月の機械輸出額は、3兆343億円、対前年同月比1.7%増と7ヶ月ぶりにプラスとなった。これは、①北米およびNIES/ASEAN向けがプラスに転じたこと、②機械輸出額の34%を占める自動車の伸びが6.7%増とプラスとなったこと、③円安や中華圏の春節のずれで約15%増になったことなどによる。

2月はさらに円安が進み、為替は11.7%の増加要因となるが、営業日が前年より2日間少ないことと春節の2月へのずれ込みで、為替・営業日は2%の減少要因となる。2月の機械輸出額は、仮に1月の実質的伸び(13%減)が続くとすれば、前年比15%減と予想されるが、2月上中旬の全商品輸出額は2.9%減となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出はプラスに転じるも、貿易収支は過去最大の赤字～

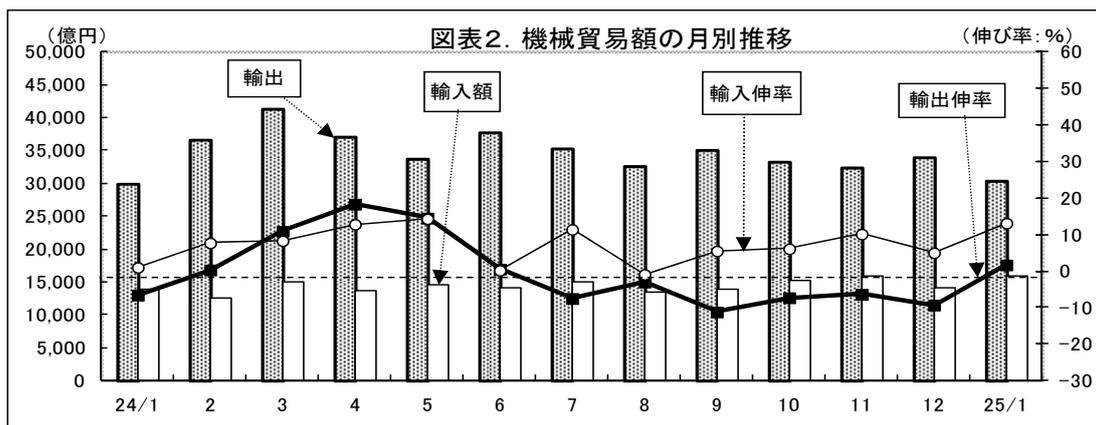
- 1) 平成25年1月の全商品輸出額は**4兆7,986億円**、前年同月比(以下同じ)**6.4%増**と昨年5月以来8ヶ月ぶりのプラスとなった(12月5.8%減)。これは全輸出額の約13%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(10.6%増)、約11%の有機化合物・プラスチック等化学製品(20.0%増)等が増加したことによる。
- 2) 輸入額は**6兆4,295億円**、**7.3%増**とプラス幅がさらに拡大した(12月1.9%増)。これは、全輸入額の約35%を占める原粗油等鉱物性燃料(8.8%増)、約12%の通信機等電気機器(14.7%増)、約7%の電算機類等一般機械(14.7%増)が増加したためである。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた1月の貿易収支は、1兆6,309億円と7月以降7ヵ月連続で貿易赤字となり、月間ベースで1979年以降最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

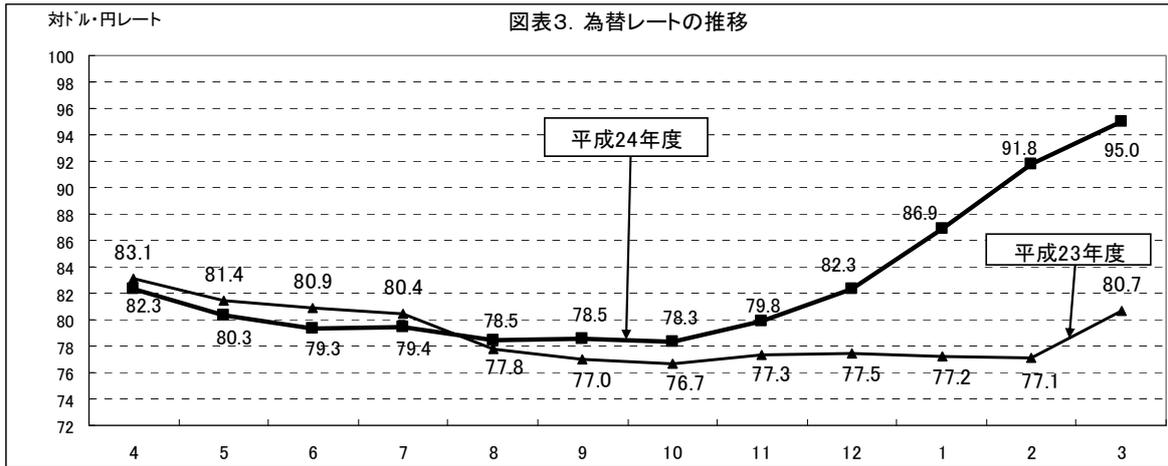
(1) 機械輸出入動向～機械輸出は昨年6以来の増加、輸入は5ヶ月連続増加～

- 1) 全商品輸出額の約63%を占める1月の機械輸出額は**3兆343億円**、**1.7%増**と昨年6月以来7ヶ月ぶりのプラスとなった(12月9.3%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年1月)と比べると、**69.4%**と前月に比べ2.9ポイント回復した(12月66.5%)。
- 2) 一方、全商品輸入額の約25%を占める機械輸入額は、**1兆5,804億円**、**13.1%増**と増加幅が拡大し(12月5.0%増)、5ヶ月連続の増加となった。輸入額の水準は、リーマンショック以前の**92.1%**と前月に比べ、7.9ポイント改善した(12月84.2%)。



(2) 為替動向・営業日～1月は為替・春節で15%の増加、2月は為替・営業日で0.7%の減少～

- 1) 1月は1ドル=86.9円と円安が進み、前年に比べ12.6%の円安となった。また、対ユーロも114.6円と前年に対して14.8%と円安が進展し、合わせて約7.8%の為替増加要因となった。営業日は同じだが中華圏向けは春節が2月にずれたため、7.8%が加わり、増加要因は15.6%となる。1月の輸出額は1.7%増であったことから、実質的伸び率は14%減とマイナス幅は変わっていない(12月12.7%減)。
- 2) 2月は1ドル=91.8円と円安がさらに進み、前年に比べ19.0%の円安となった。また、対ユーロでは123.4円で前年に対し22.4%と円安が大きく進み、合わせて約11.7%の為替増加要因となった。営業日が2日少ないこと(9.5%減)と春節がずれたことによる4.2%の減少要因を合わせ2%の減少要因となる。
- 3) 3月は、対ドルが現状の95円とすれば、前年に比べて17.7%の円安、また、対ユーロも124円と16.2%の円安となり、合わせると約10.5%の為替増加要因となる。営業日は1日少ないので4.8%減、合計5.7%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米・NIES/ASEAN・その他地域はプラスへ、中国、EU向けは引続きマイナス～

- 1) 機械輸出額が増加したのは、①機械輸出額の24%を占める北米向けで輸出額の50%を占める自動車(12.7%増)がプラスに転じ、分析・試験・検査機(27.1%増)、医療機械(21.5%増)、工作機械(17.2%増)が伸び、9.6%増とプラスに転じたこと、②28%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けでは、台湾(23.8%増)、タイ(20.5%増)、ベトナム(19.1%増)が大幅増となり、業種では自動車、電子デバイス、電子計測器、重電機等がプラスとなって3.1%増となったこと、③23%を占めるその他地域向けでは、ロシア東欧等(29.0%増)、アフリカ(12.8%増)が2ケタ増となり、機種では、輸出額の約50%を占める自動車(9.3%増)がプラスとなり2.6%の増加となったことによる。
- 2) 他方①機械輸出額の14%を占める中国向けは輸出額の14%を占める自動車(35.7%減)、産業機械(5.1%減)、工作機械(17.4%減)、重電機等(11.6%減)が大幅に減少し、9.7%減のマイナスとなったこと、②12%を占めるEU向けでは、長びく欧州経済の低迷から、輸出額の31%を占める自動車(3.6%減)、船舶(30.6%減)、軽機械(3.5%減)等が減少し、3.1%減となったことによる。
- 2) また、リーマンショック前の平成20年1月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が82%、NIES/ASEANが77%、北米が72%、その他地域は69%、EUは47%と低い水準となった。

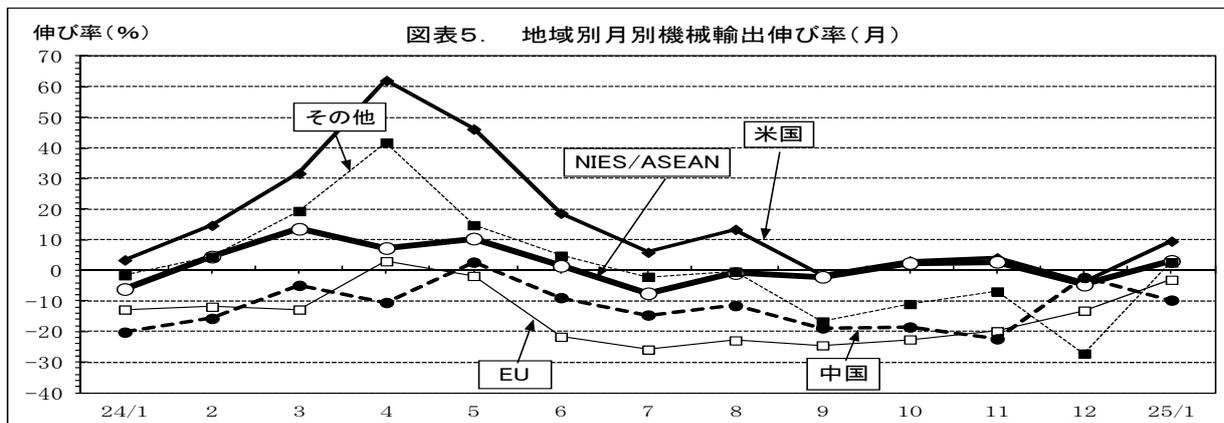
図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/11			2012/12			2013/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	32,352	▲ 6.3	107	34,003	▲ 9.3	112	30,343	1.7	100	0.69
北米	8,018	4.1	26.4	8,528	▲ 3.7	28.1	7,231	9.6	23.8	0.72
EU	3,541	▲ 19.9	11.7	3,765	▲ 13.2	12.4	3,561	▲ 3.1	11.7	0.47
NIES/ASEAN	9,401	2.8	31.0	9,859	▲ 4.7	32.5	8,394	3.1	27.7	0.77
中国	4,831	▲ 22.4	15.9	6,610	▲ 2.3	21.8	4,114	▲ 9.7	13.6	0.82
その他	6,562	▲ 6.9	21.6	5,242	▲ 27.2	17.3	7,043	2.6	23.2	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

* 12月の「中国」及び「その他地域」の数字が誤っていたため、今号で修正しています



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2012/10		2012/11		2012/12		2013/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,581	▲ 1.0	1,567	▲ 4.6	1,682	▲ 15.7	1,516	▲ 5.5
台湾	1,533	▲ 6.6	1,383	▲ 11.4	1,640	0.5	1,399	23.8
香港	1,437	▲ 2.2	1,553	18.3	1,379	▲ 8.5	1,188	0.9
タイ	1,955	31.8	1,884	56.4	1,955	35.3	1,626	20.5
シンガポール	687	▲ 12.0	697	▲ 23.1	717	▲ 26.9	694	▲ 3.9
インドネシア	805	▲ 3.9	760	▲ 19.4	794	▲ 20.5	682	▲ 11.1
マレーシア	774	5.1	621	▲ 12.0	736	0.1	535	▲ 12.8
フィリピン	507	▲ 13.5	500	2.8	491	▲ 16.3	430	▲ 8.9
ベトナム	326	7.4	360	22.3	382	1.9	264	19.1
その他地域								
中南米	2,060	▲ 11.7	2,008	▲ 18.0	1,900	▲ 5.8	2,571	3.9
中近東	1,472	▲ 3.2	1,470	23.4	1,546	12.1	1,254	3.1
大洋州	1,021	▲ 0.2	1,116	4.7	1,106	▲ 9.9	939	▲ 16.2
ロシア東欧等	1,084	▲ 25.0	995	▲ 7.8	979	▲ 5.3	1,178	29.0
アフリカ	570	0.5	460	▲ 28.1	580	▲ 28.9	675	12.8
インド	401	▲ 9.7	400	▲ 10.3	453	▲ 17.8	367	▲ 3.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種のうち10業種がプラス、自動車は5ヶ月ぶりプラス～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、9業種と8業種減少した(12月17業種)。全体の約16%を占める産業機械(0.4%減)が19ヶ月連続マイナス、また、建設機械(37.1%減)が大幅なマイナスとなる一方、約34%を占める自動車が5ヶ月ぶりのプラス(6.7%増)、医療機械が大幅増(28.3%増)、また、約8%を占める電子デバイス(1.3%増)、電子計算機(7.2%増)、繊維機械(6.6%増)、軽電気機械(4.7%増)、重電気機械(1.7%増)がプラスに転じた。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのは医療機械の1業種のみで、他方、電子計算機、民生用電子機械、通信機械、産業車両は、40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円, %)

機種名	2012/11			2012/12			2013/1			対08/1比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,092	▲ 3.8	34.3	自動車	11,593	▲ 6.2	34.1	自動車	10,405	6.7	34.3	0.65
産業機械	5,285	▲ 9.0	16.3	産業機械	5,994	▲ 12.1	17.6	産業機械	4,887	▲ 0.4	16.1	0.74
電子デバイス	2,768	8.8	8.6	電子デバイス	2,786	▲ 4.5	8.2	電子デバイス	2,361	1.3	7.8	0.64
船舶	1,155	▲ 42.8	3.6	船舶	886	▲ 37.4	2.6	船舶	2,294	▲ 7.1	7.6	0.92
軽電気機械	1,680	▲ 9.2	5.2	軽電気機械	1,797	▲ 13.5	5.3	軽電気機械	1,487	4.7	4.9	0.68
民生用電子機械	1,510	15.7	4.7	民生用電子機械	1,421	▲ 1.5	4.2	民生用電子機械	1,187	▲ 6.7	3.9	0.45
重電気機械	1,653	▲ 4.1	5.1	重電気機械	1,775	▲ 4.4	5.2	重電気機械	1,372	1.7	4.5	0.80
軽機械	1,242	0.8	3.8	軽機械	1,344	▲ 7.9	4.0	軽機械	1,089	7.1	3.6	0.72
光学機械	1,291	▲ 0.1	4.0	光学機械	1,324	1.5	3.9	光学機械	1,082	9.6	3.6	0.93
建設機械	726	▲ 35.2	2.2	建設機械	922	▲ 31.9	2.7	建設機械	658	▲ 37.1	2.2	0.58
工作機械	779	▲ 6.6	2.4	工作機械	805	▲ 16.2	2.4	工作機械	638	▲ 2.9	2.1	0.92
通信機械	394	▲ 8.4	1.2	通信機械	438	▲ 6.2	1.3	通信機械	364	▲ 7.0	1.2	0.46
電子計算機	402	▲ 2.7	1.2	電子計算機	444	▲ 1.6	1.3	電子計算機	371	7.2	1.2	0.41
ベアリング	324	▲ 11.2	1.0	ベアリング	325	▲ 16.3	1.0	ベアリング	274	▲ 4.2	0.9	0.89
陸用内燃機関	313	▲ 14.3	1.0	陸用内燃機関	330	▲ 22.0	1.0	陸用内燃機関	273	▲ 7.6	0.9	0.74
医療機械	325	3.6	1.0	医療機械	343	1.9	1.0	医療機械	287	28.3	0.9	1.28
繊維機械	155	▲ 7.5	0.5	繊維機械	150	▲ 13.6	0.4	繊維機械	126	6.6	0.4	0.66
農業機械	147	16.1	0.5	農業機械	141	▲ 10.5	0.4	農業機械	128	9.2	0.4	0.60
産業車両	116	▲ 17.1	0.4	産業車両	116	▲ 14.2	0.3	産業車両	93	▲ 6.9	0.3	0.49
19業種合計	31,357		96.9	19業種合計	32,934		96.9	19業種合計	29,376		96.8	0.68

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～原動力機械、医療機械が大幅増加、建設機械、半導体製造装置は大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①韓国・台湾向け**原動力機械** (43.4%増)、②EU、中国、韓国・台湾向け**医療機械** (28.3%増)、③中国、韓国・台湾、北米向け**電池** (17.4%増)、④北米、ASEAN、その他地域向け**自動車部品** (15.8%)、⑤ASEAN、その他地域、北米向け**風水力機械** (15.3%増)、⑥韓国・台湾、ASEAN 向け**発電機** (14.2%増)、⑦北米、その他地域、韓国・台湾、EU 向け**運搬機械** (10.4%増)、⑧中国、北米、韓国・台湾、EU 向け**時計** (10.2%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、建設機械(37.1%減)、半導体製造装置(34.1%減)、録画・再生機器(33.4%減)、エアコン(29.9%減)、デジカメ(23.4%減)、産業用ロボット(17.1%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2012/11			2012/12			2013/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
デジカメ	521	44.1	運搬機械	241	10.6	原動力機械	427	43.4
TV	81	18.3	TV	84	10.4	医療機械	287	28.3
運搬機械	238	16.9	機種合計	325	1.0%	電池	146	17.4
農業機械	147	16.1				自動車部品	3,416	15.8
機種合計	987	3.1%				風水力機械	553	15.3
						発電機	102	14.2
						運搬機械	189	10.4
						時計	64	10.2
						機種合計	5,184	17.1%

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2012/11			2012/12			2013/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
エアコン	6	▲ 57.8	録画・再生機器	8	▲ 45.9	建設機械	658	▲ 37.1
半導体製造装置	517	▲ 48.6	電池	183	▲ 43.7	半導体製造装置	719	▲ 34.1
録画・再生機器	8	▲ 45.5	エアコン	6	▲ 43.0	録画・再生機器	7	▲ 33.4
船舶	1,155	▲ 42.8	船舶	886	▲ 37.4	エアコン	6	▲ 29.9
電池	179	▲ 39.3	建設機械	922	▲ 31.9	デジカメ・ビデオ	343	▲ 23.4
建設機械	726	▲ 35.2	半導体製造装置	966	▲ 30.8	産業用ロボット	69	▲ 17.1
産業車両	116	▲ 17.1	磁気カード・ディスク等	135	▲ 23.8	機種合計	1,802	5.9%
産業用ロボット	82	▲ 16.3	陸用内燃機関	330	▲ 22.0			
貨物自動車	770	▲ 14.8	風水力機械	637	▲ 19.7			
陸用内燃機関	313	▲ 14.3	ベアリング	325	▲ 16.3			
機種合計	3,872	12.0%	機種合計	4,398	12.9%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、携帯電話、電子デバイス、乗用車が大幅増、TVが大幅減～

1) 1月の機械輸入伸び率は13.1%増と5ヶ月連続で増加となった。その要因は、二大輸入機種である電子計算機(29.4%増)と電子デバイス(19.4%増)に加え、携帯電話(57.4%増)、乗用車(32.3%増)、医療機械(24.7%増)、白物家電(10.5%増)の2桁増が大きく影響したためである。他方、大幅な減少となったのはTV(24.3%減)であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、中国(21.1%増)、北米(2.2%減)、EU(10.6%増)、ASEAN(4.2%増)、韓国・台湾(10.9%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2012/11				2012/12				2013/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	1,935	128.2	12.2	電子計算機	1,713	5.3	12.2	電子計算機	1,936	29.4	12.3
電子計算機	1,572	▲ 0.8	9.9	電子デバイス	1,528	10.5	10.8	電子デバイス	1,631	19.4	10.3
電子デバイス	1,562	8.0	9.8	携帯電話	898	2.6	6.4	携帯電話	1,356	57.4	8.6
乗用車	872	12.8	5.5	乗用車	757	12.1	5.4	乗用車	815	32.3	5.2
自動車部品	722	▲ 0.5	4.5	自動車部品	637	1.9	4.5	自動車部品	750	7.8	4.7
重電気機械	670	4.4	4.2	白物家電	508	7.2	3.6	白物家電	565	10.5	3.6
白物家電	590	9.7	3.7	医療機械	503	18.8	3.6	医療機械	534	24.7	3.4
医療機器	495	5.3	3.1	光学機械	320	14.7	2.3	光学機械	330	▲ 2.2	2.1
航空機	347	24.9	2.2	分析・試験・検査機	281	6.1	2.0	民生用電子部品	298	▲ 0.9	1.9
光学機械	345	9.9	2.2	TV	261	▲ 31.1	1.9	分析・試験・検査機	284	9.1	1.8
分析・試験・検査機	325	▲ 9.7	2.0	民生用電子部品	240	▲ 17.1	1.7	風水力機械	221	▲ 3.2	1.4
民生用電子部品	296	▲ 13.7	1.9	時計	210	0.3	1.5	TV	216	▲ 24.3	1.4
12機種合計	9,731		61.2	12機種合計	7,856		55.8	12機種合計	8,936		56.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械